



UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI

山梨大学附属図書館報

ISSN 1348-5458

# やまなし

2015.3.20  
vol.12

no. 2

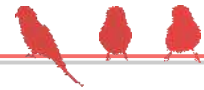
## contents

- 2 「近代文学文庫」を引き継いで
- 4 図書館利用者の声
- 5 学生にすすめる本
- 6 ラーニング・コモンズ【本館】
  - 日曜日は図書館へ
  - ラーニング・コモンズ利用状況
- 7 図書館トピックス
  - 講演会  
「トトロと空海は、医療者に何を教えてくれるのか？」を開催【医学分館】
  - 連続講座「ワークショップ アニメーションでつなぐ」を開催【本館】
- 8 ● OPAC(蔵書検索システム)とMyLibraryが新しくなりました  
今後のイベント紹介

The Yamanashi  
Bulletin of the University of Yamanashi Library



## 「近代文学文庫」を引き継いで



教育人間科学部 准教授  
(附属図書館「近代文学文庫」担当)

オオキ シモン  
大木 志門

図書館を利用する皆さんは、本館2階への階段を上った左手奥に「展示室」があるのをご存じでしょうか。多くの方は気づかずに通り過ぎているかも知れませんが、この部屋は山梨大学の誇るコレクションである「近代文学文庫」の資料を学内外に紹介するために2005年に開設された専用の展示室なのです。現在は、昨年生誕150年を迎えた明治の文豪・二葉亭四迷を中心に、尾崎紅葉や夏目漱石ら明治期の代表的な文学者の書籍・雑誌等の資料を展示紹介する「二葉亭四迷と明治文学の世界展」を開催しています。日本近代文学の黎明期を概観できる展示となっていますので、未見の方は是非ご覧ください。

山梨大学附属図書館「近代文学文庫」の発足は戦後間もない1950年に遡り、歴代の近代文学担当教員が資料の蒐集・管理にあたってきました。1949年に新制山梨大学が山梨師範学校などを母体に開学した際、帝国大学出身の国文学者で戦前には片岡良一氏・塩田良平氏と明治文学会を創設した湯地孝先生（1900-1973）が初代教官に就任するにあたり、強く設立を希望したものだったそうです。古典文学資料の蒐集では歴史のある旧制大学に到底及ばないが、今後研究が盛んになるだろう近代文学資料なら、新制大学でも日本有数のコレクションとなり得るという考えから出たものでした。

現在、山梨県は国内有数の県立文学館を有し、多くの文学者を輩出する土地となっていますが、これは湯地先生が当地を文学研究において全国的な拠点としようとした種が様々な形で開花したものと考えて良いでしょう。湯地先生の退官後、内田道雄先生（東京学芸大学名誉教授）、野山嘉正先生（東京大学名誉教授）、中丸宣明先生（現法政大学教授）の手を経て、昨年4月に山梨大学に着任した私とその管理・運営を引き継ぐことになりました。このような歴史ある文庫運営に携わることになり身が引き締まる思いです。

本コレクションは、明治・大正の浪漫主義系統の文学者の初版本・関係文芸雑誌をベ-



ースに蒐集されてきました。中でも与謝野晶子や谷崎潤一郎の初版本の数々、あるいは雑誌「明星」や「すばる」などの原本はいずれも現在入手困難な貴重な資料です。その他に尾崎紅葉、島崎藤村らの著作も多くが揃っていますし、「花月新誌」「帝国文学」「朱鸞」「新小説」「アララギ」などの文芸雑誌類もかなり備えています。私は本学にお世話になる前は日本近代文学館（東京都目黒区）というわが国で最も古い総合文



学館に勤務していましたので、近代文学文庫の資料の価値はよくわかります。文庫の書架の前にいると、ついつい様々な本を手にとってしまい、時間が過ぎるのを忘れてしまいます。

近年では残念ながら予算の都合から資料の拡充ができなくなっていますが、既存のコレクションの維持・管理に努めながら利用促進に力を注いでおり、県立文学館など各地の文化施設での展覧会にたびたび初版本などを出品しています。また2007年からは、国文学研究資料館（東京都立川市）との共同事業として、本文庫所蔵資料を底本とした影印復刻版出版事業（『リプリント日本近代文学』，発売・平凡社）も開始され、すでに多くの本が刊行されています。国文学研究資料館とは協力関係のもとにコレクションの詳細調査の作業も継続して行っています。現在は公的な機関への貢献が主流ですが、これからはもっと本学の学生に向けた教育・研究への貢献ができないかと考えているところです。たとえば保存と両立させながら、これら資料を用いた授業が出来ないかなどと模索しています。



その「近代文学文庫」の所在ですが、附属図書館内ではなく、J号館の3階の専用の部屋にあります。

原則として貴重書は帯出禁止ですが、その場でゆっくり閲覧していただけますし、一部の復刻版等は貸し出し可能です。利用希望の場合は事前にも私までご連絡ください。ちなみに、この一年で利用が目立ったのは漱石門下の文学者・鈴木三重吉が1918年



に創刊した児童文学雑誌「赤い鳥」の復刻版です。西条八十や北原白秋など童謡の楽譜集や「赤い鳥童話」初版本の復刻も付属していて、文学だけでなく音楽・美術などの分野でも大変有用な資料です。

最後にあえて少し大きなことを言えば、いま国立大学の教育・文系学部への逆風が吹き荒れる中で、山梨大学にしかできない教育の個性を示すためにこの貴重なコレクションを活用し、広くアピールしてゆきたいと考えています。いつでもどこでもすぐにアクセスできる電子テキストの便利さも捨てがたいですが、ぜひ代わりのきかない一点ものの資料の魅力に触れにきてください。また、冒頭で述べた図書館内展示室も定期的に展示替えいたしますので、時々覗きにきていただければ幸いです。

## 学習スペースについて



医学部  
看護学科 2年  
タカハシ ミズキ  
高橋 瑞季

「私ちょっと図書館寄ってく」「今日夜図書館行こうかな」毎日のようにそんな声を耳にします。そのたびに、図書館は私たち学生にとってとても身近な存在なのだなと感じます。医学分館はたくさんの医学書がそろっていたり、命について深く考えることができる「生と死のコーナー」があったり、特別利用で24時間利用することができたりと、勉強を様々な面で支えてくれる素敵な場所です。

ただ、ひとつ気になることがあります。それは「図書館の席をとった」という声も多いことです。国試対策などで特別に許可される場合を除き、図書館は席とり禁止となっていますが、席を離れるときも自分の荷物を置いたままにしている人がいます。これにより空いている席がなくなってしまう、せっかく図書館で勉強しようと来た人が勉強できないということがよく起こっています。

でも、席をとっている人たちも悪気はなく、仕方なくそうしているのだと思います。なぜなら、その人たちも席をとらなければ他の人にとられてしまい、勉強するスペースがなくなってしまうからです。

特に国試前やテスト期間中は、図書館を利用する人の数に比べて、学習スペースが少ないように感じます。私は、学生の強い味方であり本当に素敵な場所であるこの図書館だからこそ、もっと多くの人が利用できる場所であってほしいと思います。学習スペースを増やすなどしてこの問題が解決すれば、今よりもさらに利用しやすい図書館になるのではないのでしょうか。

## 新しい図書館



医工大学院  
生命工学 修士2年

チン イン  
陳 穎

今年の4月に山梨大学附属図書館がリニューアルオープンしました。私もその時から図書館のカウンター業務をやらせて頂いています。

1階にラーニング・コモンズができ、皆で勉強したり、ミーティングしたりすることができました。また1階の奥に最新の雑誌、新聞が置いてあり、沢山の花や緑などの中で本を読んだりすると、まるで喫茶店の中のように癒されます。

夜間のバイトをしている時、皆がラーニング・コモンズで一緒に勉強したり、サークルのミーティングをしたりする姿を見ると、なぜかすごく暖かい感じがしました。図書館はもちろん本を読んだり、借りたりするという「本とコミュニケーション」する空間ですが、新しくなった図書館には「人と人をコミュニケーション」する空間を造りました。勉強すると言うことは本から知識を貰うだけではなく、他の人の経験から勉強することもできます。人も皆それぞれの個性や、経験、知識を持っていますので、他人という本から勉強することも私達にとってとても大事なことだと思います。

またラーニング・コモンズに置いてあるテーブルや椅子をパズルのように自由に動かしたり、組み合わせたりすることもできます。毎回来る方によって、テーブルや椅子の配置が変わるため、「今日はどんな形状なんだろう」と思いながら見に行くのを楽しみしていました。

友達またいろいろな方と充実した大学生活を過ごしたい方、是非一度、足を運んで、新しい図書館へ本と、人とコミュニケーションしてみてください。

### 「誤解」の惑星

大学院総合研究部 教育人間科学域 教育学系

ヒロセ ノブオ  
広瀬 信雄 教授



- ◇ スペードの女王・ペールキン物語
- ◇ 大尉の娘

プーシキンA.S. 著, 神西清訳 岩波書店

ことばは人間にとってやっかいなものだ。自分の考えや思いを十分伝えられた時はたいそう便利な道具であるが、そうでない時は非常に困った道具と化す。さらに困るのは考えや思いを上手に伝えつつも、相手には、例の「誤解」という現象を生み出すことである。（この事実はネット社会で、より明確になった。）だから「沈黙は金、雄弁は銀」などと言う。世の中の人々は誤解の洪水の中で暮らしているのだ。

研究上、ささやかな翻訳作業を要する小生にとって、上記の問題は避けて通れない。話しことばでも書きことばでも状況は同じだが、とりわけ後者の場合、誤解は深刻である。

こんな時、手元に置くのはプーシキンA.S. (1799-1837)の短編、その神西清(1903-57)訳の日本語版『スペードの女王・ペールキン物語』や『大尉の娘』(岩波文庫)である。原著の偉大さに論の余地はない。しかし原著(の一部)が露文和訳問題として課されても、神西訳のようにはならない。

同じことばが多く、誤解を生む、と書いたが、それぞれが文学作品の特質でもある。同一文章でいくつもの違った考えや思いを想起させる力が作品に宿っている。だから「読み返すたびに新発見がある」などという。この無限の力に気づかせてくれたのはヴィゴツキー L.S. (1896-1934)である。入門は『はじめて学ぶヴィゴツキー心理学』, 最高峰は『思考と言語』(新読書社)。後者は読みにくく、訳文は日本語として不自然である。最初からは勧めない。

所蔵あり

- \* スペードの女王・ペールキン物語 一本館2F文庫新書書架 983/SUP
- \* 大尉の娘 一本館2F文庫新書書架 983/TAI
- \* はじめて学ぶヴィゴツキー心理学 一本館2F一般書架 371.45
- \* 思考と言語 一本館2F一般書架 376.11

### 日常に統計学的発想が 応用できる。

医学部 歯科口腔外科学講座 歯科口腔外科

ウエキ コウイチロウ  
上木 耕一郎 教授



- ◇ 統計学が最強の学問である【実践編】  
—データ分析のための思想と方法

西内啓 著  
ダイヤモンド社

大学に属する者の大きな仕事の一つが研究であり、基礎、臨床研究で出てきたデータを統計処理ソフトの力を借りて、客観性を持たせた結果として発表するのが当たり前のようになっている。あらゆる事象において統計学は非常に重要で、最終的な結論を左右してしまう道具であるのかもしれない。本書は、このことを実に直接的に読者に訴えかけている。「統計学が最強の学問である」というタイトルが何ともインパクトがあり、さらに一般のビジネスマン用ということから、比較的わかりやすく書かれている。統計学的発想が多く、ビジネスにおける成功への鍵であるというものである。著者は高度な生物統計学を専門にしておられるので、何気に難しい用語、数式に出くわし、難解な部分もみられるが、これらを十分理解できなくても学生諸君が概念をつかむにはいい本であると思う。筆者いわく統計学は人間の行の因果関係を洞察すること。それ以外には現状の把握と今後の予測であると謳ってということからも、このような統計学的考え方はあらゆる日常において応用されることが具体的な例を用いて記されている。科学を志す者のみならず、ビジネス、さらには日々の行動においても有利に立ち振る舞うことを目指している者にとって、あまり構えることなく読み流せる入門書なのではないかと思う。実践編の前に「統計学が最強の学問である」が入門編として出版されていますのでこちらも一読してみたいかでしょう。

所蔵あり

⇒ 医学分館2F開架図書(第二) 350.1 / DET





## 日曜日は図書館へ

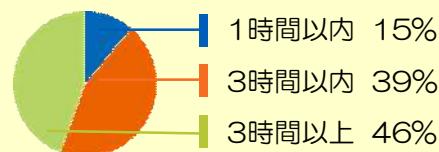
アンケート結果

平成27年度から(平成27年4月19日から)学生の要望により、日曜日にも開館し、学生の自主学習の機会を増やすことになりました。試験的に平成26年12月に2週連続(12月7日, 14日)日曜開館の試行をしましたところ、1日目(12月7日)92名、2日目(12月14日)192名の利用者があり、学生の利用希望が多いことがわかりました。

特に試験期間前の日曜日は、学習環境を求めて図書館に行きたくようになります。日曜日の図書館は、ベテランの学生アルバイトがおりますので、困ったことがあったらお問い合わせください。学生の皆様多数のご利用をお待ちしております。

**\* 日曜開館は、本学学生証、職員証が配布されている学生、教職員のみ利用できます。**

利用者滞在時間



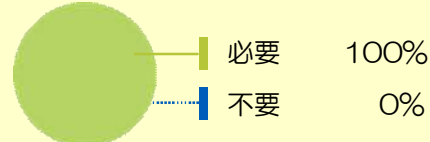
来館目的



周知方法



開館すべきか



日曜開館時間帯：午前10時～午後6時

日曜休館日：夏季休業, 冬季休業, 春季休業中の日曜日, 入学試験日等

## ラーニング・コモンズ利用状況



### ◎キャリアセンター関連イベント

日付	イベント種別	関係企業	日付	イベント種別	関係企業
10/20	就活ワークショップ	-	1/13	個別企業研究会	紳士服・化粧品会社
10/23	就活ワークショップ	-	2/10	個別企業研究会	シチズンセイミツ(株)
10/28	就活ワークショップ	-	3/5	個別企業研究会	富士電機(株)
11/7	就活ワークショップ	-	3/13	個別企業研究会	三菱電機(株)
12/1	就活ワークショップ	-	3/24	個別企業研究会	(株)キトー



### ◎定期イベント

日付	イベント種別	関係部署	時間
月・水・金	学生相談	図書・情報課	10:00~11:00 14:00~16:00
木	フィロスサテライト	全学	工学部教員による学習相談(数学) 16:00~19:00
火・水	G-フィロスサテライト	全学	英語学習サポート 火 12:20~13:00 水 16:30~19:20

## ❁ 講演会

### 「トトロと空海は、医療者に何を教えてくれるのか？」を開催



10月27日（月）、医学部キャンパスにおいて、聖路加国際病院精神腫瘍科部長の保坂隆先生をお招きし、「トトロと空海は、医療者に何を教えてくれるのか？」と題した講演会を開催しました。

この講演会は、附属図書館医学分館内に常設されている「生と死のコーナー」の関連行事（平成26年度附属図書館医学分館地域貢献事業）として実施されたもので、当日は医学生、教職員、地域の医療関係者、一般の方など約180名が聴講しました。

講演では、アニメ「となりのトトロ」のストーリーの紹介から始め、ソーシャルサポートの方法について、アニメの登場人物をあてはめながら、その重要性を説きました。また、空海の死を目前にした最後に、学ぶべきところがあると説き、スピリチュアルケアやターミナルケアのあり方について説明がありました。身近な題材を切り口とした講演内容や、講演の途中、隣の方とのシンキングタイムを設けるなど工夫があり、会場では熱心に聴講する様子が見受けられました。

参加者からは、「がん患者さんと考える「病気の意味」の話やソーシャルサポートの話など、とても納得のいく内容で、今後にかせればいいなと思いました。（本学学生）」、「精神論については、なかなか普段話しを聞く機会がないので勉強になりました。コミュニケーション能力、言葉のツールを増やしていきたいですね。（本学教職員）」、「トトロと空海がどのような共通点があるのかと興味を持って講義をお聞きしました、保坂先生の説明がとても解りやすかったです。（一般）」などの感想が寄せられました。

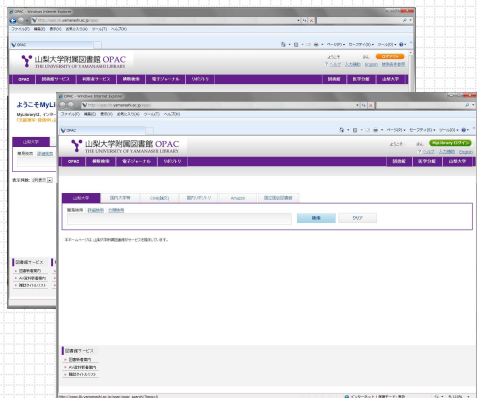
## ❁ 連続講座 「ワークショップ アニメーションでつなぐ」を開催



子ども図書室では、平成27年2月13日（金）に〈子どもと読書活動をつなぐ〉連続講座の第5回「ワークショップ アニメーションでつなぐ」を開催しました。本講座は、年5回子どもと読書にかかわるさまざまな分野の講師を招き、山梨県立図書館と共同で開催しています。今回は今年度最終回です。関西大学初等部ライブラリーの司書向井ひろこさんが実例に伴ったアニメーション、つまりゲームや遊びを通して、読書好きになれるよう

な読書教育メソッドを紹介しました。70名以上の参加者が意欲的に発言し、有意義な時間を過ごしました。

## ❀ OPAC(蔵書検索システム)とMyLibraryが新しくなりました



平成27年2月23日より図書館システムを更新し、山梨大学蔵書検索システムOPACとMyLibraryが新しくなりました。新しいOPACではサジェスト機能が付き、キーワードの入力が補助されるようになりました。また、検索結果一覧画面でも所蔵場所が表示されるようになったり、詳細検索結果に類似資料が表示されるようになるなど、より資料が探しやすくなる機能が追加されています。また、今回の更新では、スマートフォン用の検索画面も用意されました。MyLibraryはこれまでよりもさらにOPACと連携した画面作りになっていて、OPACからもログインが可能です。是非ご活用ください。

## event

### 今後のイベント紹介

#### 平成27年度山梨県・山梨大学連携事業 「子どもの読書活動推進スキルアップ講座」全5回のご案内

子ども図書室では、山梨県と山梨大学の連携事業の一環として、山梨県立図書館と山梨大学の共同企画により、毎年「子どもの読書活動推進スキルアップ講座」を全5回開催しています。平成27年度も幼児から小学生の子ども読書活動にかかわる方を対象とした講演やワークショップを行います。会場は山梨県立図書館を予定しています。ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。



#### お問い合わせ先

山梨県立図書館サービス課 子ども読書推進スキルアップ講座 担当  
〒400-0024 甲府市北口二丁目8-1 TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042

◆イベント詳細については、ポスター・パンフレット・山梨大学附属図書館ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

## 学外の方への利用案内

本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できます。詳細については、<http://lib.yamanashi.ac.jp/>をご覧ください。か、本館 Tel:055-220-8066 (情報サービスグループ)、医学分館 Tel:055-273-9357 (医学情報グループ)にお問い合わせください。



### 山梨大学附属図書館報 「やまなし」 第12巻第2号

2015年3月20日 発行  
編集：館報編集委員会  
発行：山梨大学附属図書館  
〒400-8510  
甲府市武田四丁目4-37  
TEL 055-220-8063

●表紙撮影：図書・情報課 職員  
場 所：山梨大学 (甲府キャンパス)